



## 2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年4月28日

上場会社名 株式会社キングジム 上場取引所 東  
 コード番号 7962 URL <https://www.kingjim.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 彰  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 原田 伸一 (TEL) 03-3864-5883  
 四半期報告書提出予定日 2023年4月28日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年6月期第3四半期の連結業績(2022年6月21日～2023年3月20日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	28,935	9.8	81	△89.6	245	△74.8	65	△89.1
2022年6月期第3四半期	26,345	△2.1	781	△64.1	974	△59.4	598	△64.1

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 640百万円( 5.7%) 2022年6月期第3四半期 605百万円(△71.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	2.28	2.27
2022年6月期第3四半期	21.00	20.92

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期第3四半期	37,966	24,263	63.7	847.33
2022年6月期	33,512	24,231	72.0	846.80

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 24,176百万円 2022年6月期 24,135百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	7.00	—	15.00	22.00
2023年6月期	—	7.00	—		
2023年6月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年6月21日～2023年6月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	9.2	0	△100.0	200	△85.1	260	△67.0	9.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年6月期3Q	31,459,692株	2022年6月期	31,459,692株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年6月期3Q	2,926,776株	2022年6月期	2,957,834株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年6月期3Q	28,516,671株	2022年6月期3Q	28,487,526株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動縮小から緩やかに持ち直す動きがみられましたが、世界的な金融引き締めを背景とした金融資本市場の変動や物価上昇の影響により、依然として厳しい状況となりました。

このような状況のもと、第10次中期経営計画(2022年6月期から2024年6月期)の目標達成に向けた取り組みを実行してまいりました。「テプラ」やファイルといった基盤事業のさらなる強化を図りつつ、インテリアライフスタイル事業や衛生・健康用品の拡販、M&Aによる事業領域拡大など、成長分野への注力をしております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、2021年11月より子会社化したライフオンプロダクツ(株)と2023年2月に吸収合併した(株)エイチアイエムの売上寄与により、売上高は289億3,548万円(前年同期比9.8%増)となりました。利益面では、製品の価格改定により収益の確保に努めましたが、急激な円安や物流費等の高騰に加え、原材料価格も依然として高い水準にあることから、営業利益は8,141万円(前年同期比89.6%減)、経常利益は2億4,540万円(前年同期比74.8%減)、特別利益として販売物流システム再構築遅延に伴う受取和解金や(株)エイチアイエムの吸収合併による抱合せ株式消滅差益などの計上がありました。税金費用の負担が大きかったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,505万円(前年同期比89.1%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 文具事務用品事業

基盤事業である文具事務用品事業におきまして、主力の「テプラ」では、「テプラ」Liteの「すみっこぐらし」コラボ柄モデルを発売したほか、スマホで手軽にラベル作成できる「SR-R2500P」を発売いたしました。ステーションナリーでは、過去に発売した機能性商品をトレンドカラーにリニューアルした「カラーセクション」シリーズを発売いたしました。

成長分野の各カテゴリにおきまして、デジタル文具では、デジタルメモ「ポメラ」の新機種「DM250」を発売いたしました。また、オフィス・生活環境用品では、道路交通法施行規則の改正による運転前後の酒気帯び確認義務化に先立ち、呼気中のアルコール有無を判別できる「アルコールチェッカー」を発売するなど、新規カテゴリ商材の開発にも注力いたしました。バッグ・収納用品においては、シンプルなデザインと機能が特徴の収納アイテムシリーズ「New Basic」シリーズの第2弾を追加ラインアップし、SNSでも好評をいただいております。

販路拡大施策においては、メインの販売ルート以外に、テレビ通販の活用や、建設資材のレンタル・販売業への衛生・健康用品の提案、コラボ企画による「テプラ」オリジナルモデルの販売など、積極的な販売活動を推進いたしました。また、オフィス防災用品の認知拡大・売上獲得を目指し、「防災アイテム丸わかりBOOK」と題したパンフレットを作成し、オフィス用品メーカーならではの切り口で新規需要獲得に取り組みました。

加えて、新規販路開拓と商品認知拡大を狙い、2023年2月15日～2月17日にかけて東京ビッグサイトで開催された「第95回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2023」に出展いたしました。当日は新規得意先との商談を積極的に行い、後日メディアでも放映されるなど、効果的な対外施策となりました。また、(株)エイチアイエムの吸収合併に伴う売上加算もあり、EC事業が伸びました。

しかしながら、昨年好調だった手指消毒器「テッテ」の反動減などの影響により、売上高は191億2,732万円(前年同期比0.8%減)、急激な円安や物流費等の高騰に加え、原材料価格の高止まりにより、営業損失は1億6,546万円(前年同期は3億6,598万円の営業利益)となりました。

#### ② インテリアライフスタイル事業

(株)ぼん家具は、収納用品を中心に家具の販売が引き続き好調に推移しております。また、主力店舗のゲキカグが「楽天ショップ・オブ・ザ・イヤー2022 家具・収納賞」を受賞いたしました。ライフオンプロダクツ(株)は、販売が好調なルームフレグランス商材の展開強化を行いました。(株)ラドンナは、主力のキッチン家電やフォトフレームは堅調な売り上げを維持しましたが、気温の高い状態が続いたことによる需要の変化により加湿器の売上は大幅に減少いたしました。(株)アスカ商会は、定番商品である花類・グリーン・観葉類が好調でした。店舗についても顧客会員数が増加し、売上は好調に推移しております。

この結果、売上高は(株)ぼん家具と(株)アスカ商会が好調だったことに加え、2021年11月より子会社化したライフオンプロダクツ(株)の加算もあり、インテリアライフスタイル事業全体で98億815万円(前年同期比38.8%増)、急激

な円安による売上原価率の上昇により、営業利益は2億3,350万円(前年同期比42.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して、44億5,399万円増加し、379億6,617万円となりました。これは主に、現金及び預金が8億943万円、商品及び製品が22億4,883万円、㈱エイチアイエムの株式取得などによりのがれんが2億9,589万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して、44億2,208万円増加し、137億235万円となりました。これは主に、運転資金需要等として短期借入金が増加した46億2,000万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して、3,190万円増加し、242億6,382万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月1日に公表いたしました連結業績予想および配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,078,942	6,888,375
受取手形	453,185	305,950
売掛金	4,919,830	5,285,919
商品及び製品	8,775,732	11,024,566
仕掛品	476,895	422,271
原材料及び貯蔵品	1,599,620	1,531,390
その他	788,394	900,040
貸倒引当金	△2,624	△708
流動資産合計	23,089,976	26,357,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,094,134	6,162,218
減価償却累計額	△3,888,196	△4,024,616
建物及び構築物(純額)	2,205,938	2,137,601
機械装置及び運搬具	3,101,267	3,253,980
減価償却累計額	△2,819,117	△2,945,906
機械装置及び運搬具(純額)	282,149	308,074
土地	1,588,784	1,588,784
建設仮勘定	103,220	160,051
その他	2,932,739	3,037,857
減価償却累計額	△2,674,249	△2,787,994
その他(純額)	258,489	249,863
有形固定資産合計	4,438,582	4,444,374
無形固定資産		
のれん	1,232,624	1,528,517
その他	628,658	686,152
無形固定資産合計	1,861,283	2,214,670
投資その他の資産		
投資有価証券	2,167,593	2,893,347
退職給付に係る資産	1,293,228	1,388,167
繰延税金資産	244,658	253,674
その他	419,149	416,242
貸倒引当金	△2,287	△2,109
投資その他の資産合計	4,122,341	4,949,323
固定資産合計	10,422,208	11,608,368
資産合計	33,512,184	37,966,175

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,618,476	1,736,058
短期借入金	1,040,000	5,660,000
1年内返済予定の長期借入金	450,055	451,890
未払法人税等	218,277	81,374
未払金	880,632	775,630
役員賞与引当金	33,312	14,218
契約負債	26,259	37,934
その他	855,420	979,747
流動負債合計	5,122,431	9,736,854
固定負債		
長期借入金	2,769,278	2,322,347
繰延税金負債	542,364	747,229
退職給付に係る負債	473,620	508,010
資産除去債務	30,751	31,259
その他	341,819	356,653
固定負債合計	4,157,834	3,965,500
負債合計	9,280,266	13,702,354
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,978,690	1,978,690
資本剰余金	1,717,573	1,718,670
利益剰余金	22,487,418	21,925,214
自己株式	△2,614,703	△2,587,278
株主資本合計	23,568,979	23,035,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	545,185	948,011
繰延ヘッジ損益	3,548	△1,065
為替換算調整勘定	△6,842	163,744
退職給付に係る調整累計額	24,528	30,743
その他の包括利益累計額合計	566,420	1,141,435
新株予約権	87,088	87,088
非支配株主持分	9,430	—
純資産合計	24,231,917	24,263,820
負債純資産合計	33,512,184	37,966,175

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月21日 至 2022年3月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月21日 至 2023年3月20日)
売上高	26,345,699	28,935,481
売上原価	16,516,991	18,509,680
売上総利益	9,828,708	10,425,800
販売費及び一般管理費	9,047,241	10,344,384
営業利益	781,466	81,416
営業外収益		
受取利息	10,046	11,453
受取配当金	57,171	81,449
為替差益	26,501	—
受取賃貸料	112,806	112,921
その他	41,059	36,954
営業外収益合計	247,585	242,779
営業外費用		
支払利息	10,608	31,837
為替差損	—	4,817
賃貸収入原価	41,217	36,204
その他	2,451	5,926
営業外費用合計	54,277	78,786
経常利益	974,775	245,408
特別利益		
固定資産売却益	92	139
投資有価証券売却益	911	—
関係会社出資金売却益	—	14,693
受取和解金	—	20,680
抱合せ株式消滅差益	—	8,477
特別利益合計	1,003	43,990
特別損失		
固定資産除却損	3,178	81
投資有価証券評価損	478	—
特別損失合計	3,656	81
税金等調整前四半期純利益	972,122	289,318
法人税、住民税及び事業税	304,641	166,064
法人税等調整額	68,399	33,983
過年度法人税等	—	24,114
法人税等合計	373,040	224,162
四半期純利益	599,082	65,156
非支配株主に帰属する四半期純利益	832	101
親会社株主に帰属する四半期純利益	598,249	65,054



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月21日 至 2022年3月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月21日 至 2023年3月20日)
四半期純利益	599,082	65,156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△100,026	402,826
繰延ヘッジ損益	819	△4,613
為替換算調整勘定	126,008	170,586
退職給付に係る調整額	△20,183	6,215
その他の包括利益合計	6,618	575,015
四半期包括利益	605,700	640,171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	604,868	640,069
非支配株主に係る四半期包括利益	832	101

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)の仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2021年6月21日至2022年3月20日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,278,687	7,067,012	26,345,699	—	26,345,699
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68,812	182,606	251,418	△251,418	—
計	19,347,500	7,249,618	26,597,118	△251,418	26,345,699
セグメント利益	365,987	402,828	768,816	12,650	781,466

(注) 1. セグメント利益の調整額 12,650千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2022年6月21日至2023年3月20日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,127,324	9,808,156	28,935,481	—	28,935,481
セグメント間の内部売上高 又は振替高	76,683	205,059	281,743	△281,743	—
計	19,204,008	10,013,216	29,217,224	△281,743	28,935,481
セグメント利益又は損失(△)	△165,469	233,503	68,033	13,382	81,416

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 13,382千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。